

世界銀行及び北九州市との連携について

【世界銀行】

世界銀行は、貧困削減と持続的成長の実現に向けて途上国政府に対し融資、技術協力、政策助言を提供する国際開発金融機関である。その重要意思決定は日本を含む加盟国が行っている。世界銀行グループ（本部所在地：米国ワシントンD.C.）は1944年に設立され、5つの機関で構成されており、1万人以上の職員が世界120か国以上で業務にあたっている。

【世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）】

日本政府と世界銀行のパートナーシップに基づいて2004年に設立。アジア大洋州を含む全世界における開発援助コミュニティの中で、都市開発や防災に関する知識と経験の交換と共有を促進することを目的としたセンター。

【世界銀行と北九州市の「都市間パートナーシッププログラム（CPP）」】

CPPは、日本において選定された都市と途上国都市との連携を支援し、促進することを目的とし、北九州市は2016年7月にCPPの第1期として横浜市、神戸市、富山市とともに選定され、「グリーン成長」と「廃棄物管理」のテーマで活動している。

※これまでの主な取組

- | | |
|----------|--|
| 平成28年7月 | 世界銀行がCPPの第1期都市として北九州市を選定。 |
| 平成29年3月 | 北九州市と世界銀行がCPPにかかる覚書を締結。
「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を北九州市で実施。 |
| 平成30年2月 | 「北九州モデル：廃棄物管理と洪水リスク管理」を作成。 |
| 平成30年9月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」及び世銀レポート出版記念公開
セミナーを北九州市で実施 |
| 平成30年11月 | 廃棄物管理に係る専門家派遣（パナマ） |
| 令和元年11月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を北九州市で実施
国際シンポジウム「海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題と
アプローチ」を世界銀行と北九州市で共催 |
| 令和2年10月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を実施（オンライン） |
| 令和3年10月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を実施（オンライン） |